

ものづくり基本計画		重点項目		平成27年度			
重点項目	事業名	①緑地率の緩和		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>本市に立地する大規模事業所においては、限られた工場敷地内に多数の生産施設等を配置し操業しています。</p> <p>市内大規模事業所に、より工場敷地内を有効活用していただき、生産活動の活性化や、更なる生産性の向上を実現していただくために、工場立地法の規定に基づき緑地率の緩和を実施していきます。</p>		取組状況	H27.9.1 現在	工場立地法の規定に基づく最大限の緑地率緩和をするため、以下の取組みを実施した。 ①H27年5～6月他都市の緑地率緩和状況を調査・把握 ②H27年7月市内特定工場に対して、緑地面積率等の緩和に関するアンケート調査実施 ③アンケート結果も踏まえた条例案の作成（みどり条例との整合性を図る） ④H27年8月重要政策検討会議において、緑地面積率等の基準等を決定	
		補足事項			進捗率等	H27.9.1 現在	(%)
						H28.3.31 現在	条例の制定 100 (%)
	成果目標	工場立地法に基づく準則条例の制定（緑地率の緩和条例の制定）					
	① 総合計画の位置付け（分野別）	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価	<p>H27年11月「静岡市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例」を制定、H28年4月1日に施行</p> <p>【H27.9.1以降の取組】</p> <p>①政策法務委員会の承認を得た条例案にて、H27年9月パブリックコメントを実施 ②H27年10月経営会議において条例案の決定を受けたのち、H27年11月議会に議案を提出、11月20日議決 ③条例制定後、市内特定工場あてに条例の制定及びその内容を周知 ④H28年4月1日に条例を施行</p>	
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進				
		中施策	①企業の誘致と留置の促進				
	産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>制度の周知による、該当事業所の敷地・緑地の有効活用促進や、設備投資の誘発</p>		
基本方針		(3) 企業等の誘致・留置・・・※2					
基本施策		<p>※1 ③低・未利用地の活用促進</p> <p>※2 ②市内企業等の留置の推進</p>					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他（特記事項）				

ものづくり基本計画		重点項目		平成27年度	
事業名	②大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討		予算額	0千円	
			決算見込額	0千円	
事業概要	<p>本市には、エアコン等の電気機械器具製造業をはじめ、自動車フェンダーミラー等の輸送機器製造業など大手製造企業が立地しているとともに、それに関連する傘下の中小製造事業者が多数操業しています。</p> <p>こうした中小製造事業者は、製造品出荷額等の統計結果からも本市ものづくり産業への貢献が非常に大きいことから、事業活動の課題等を向うとともに、課題の解決に向けた支援策の検討に取り組んでいきます。</p> <p>具体的には、そうした中小製造事業者が抱える課題の解決に向けて、市内及び首都圏等の優れたOB人材（エンジニア等）と中小製造事業者のマッチングを図っていきます。</p>		取組状況	H27.9.1 現在	<p>■事業構築に向けての事例調査及びヒアリングの実施</p> <p>三島市及び県中小企業団体中央会が実施している同様の事業の視察・視察等を実施し、事業実施における効果や事業運営を行う際の注意点等のヒアリングを行った。</p>
			補足事項	進捗率等	H27.9.1 現在
			H28.3.31 現在	0(%)	
成果目標	企業OB技術者の現状把握及び活用方策の整理				<p>■事業構築に向けての事例調査及びヒアリングの実施</p> <p>三島市及び県中小企業団体中央会が実施している同様の事業の視察・視察等を実施し、事業実施における効果や事業運営を行う際の注意点等のヒアリングを行った。</p> <p>これにより、平成28年度に当該事業を進めていくうえで、中小企業支援団体及び金融機関との繋がりを作ることができるとともに、同様の事業を進めている及び実施している団体や企業にヒアリングを行い、その効果や課題を知ることができた。</p>
② 総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流	事業評価	事業結果	
	大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。		<p>■課題・問題の把握</p> <p>課題・問題点の一つとして、マッチングをしたものの、性格の不一致などにより、すぐ辞めてしまうケースもあるため、単にマッチングを行うだけでなく、マッチング後継続して働いてもらえるような仕掛けも必要であることが分かった。</p>	
	中施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出			
産業振興プラン位置付け	基本方向	人材の育成・確保	事業評価	<p>■マッチング方法の検討</p> <p>中小企業側のニーズ及び、人材がもつシーズをマッチングさせる作業は、双方を深く知る必要があるため、その方法について効率的に行えるよう検討していきたい。</p>	
	基本方針	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。		<p>■大手製造企業の現状把握</p> <p>大手製造企業の傘下企業においては、例えば、大手製造企業を勧め上げた人材をその取引先である傘下企業とマッチングを行うような方向性が考えられる。この場合、大手製造企業の人材に対する現状を詳細に知ることが必要であるため、ヒアリング及び事業調整を行う必要がある。</p>	
	基本施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出		<p>■労働局への相談・確認の実施</p> <p>労働供給に関連する事業となり得るため、労働局等関連部局に相談し、法律等に抵触しないような事業運営を行えるようにしたい。</p>	
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)		

重 点 項 目 ③	ものづくり 基本計画	重点項目		平成27年度					
	事業名	③中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討		予算額	0千円				
				決算見込額	0千円				
	事業概要	<p>中小製造事業者にとって多くの規制事項は、事業展開のスピードを鈍らせ、他事業者との競争力を低下させています。こうした状況の改善については、規制事項の洗い出しとともに、緩和に向けて関係機関と協議してまいります。</p>		取組状況	H27.9.1 現在	<p>■規制事項の洗い出しに向けての検討 経済団体との懇談や企業訪問等を通じて規制事項の洗い出しを行うため、ヒアリング事項等について検討する。</p>			
					進捗率等	H27.9.1 現在			
						H28.3.31 現在			
	補足事項								
	成果目標	市内製造事業者が課題とする規制事項及び緩和と要望等の把握並びに緩和実現に係る方針の検討		事業評価	<p>■経済団体との懇談等を通じた規制事項のヒアリング等の実施 経済団体との懇談・要望や企業訪問等を通じた規制事項のヒアリングを実施した。 ・静岡商工会議所からの要望 ・静岡経済同友会からの提言 ・企業訪問を通じたヒアリング</p>				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針							
		大施策							
中施策									
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p>	<p>■ヒアリング先業種の拡大と規制緩和に向けての課題の整理等の実施 特定の業種に留まることなく、幅広く、様々な業種について更なるヒアリングを実施するとともに、関係機関との具体的な協議に向け、ヒアリングにて抽出された課題の整理を行っていく。 更には、協議可能なものについては協議に着手する。</p>					
	基本方針								
	基本施策								
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)						

ものづくり基本計画		重点項目		平成27年度		
事業名	④本市の誇るべき中小製造事業者等の表彰	予算額	0千円			
		決算見込額	0千円			
事業概要	<p>本市には、高いシェアを誇る製品の生産に加え、優れた生産技術を有する中小製造事業者があります。今後は、条例の表彰規程のもとで、こうした事業者を大いに称え、次代のものづくり産業を担う方々に広く周知を図っていきます。</p>	取組状況	H27.9.1現在	<p>■静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 静岡県知事表彰の産業開発振興功労、また静岡市功労者表彰の産業功労において中小製造事業に携わる方の推薦を実施。 (推薦者数) ・県知事表彰 1者 ・市功労者表彰 3者</p> <p>■中小製造事業者の技術表彰制度の検討 本市には、優れた生産技術を有する中小製造事業者が数多くあることから、こうした事業者を称え、表彰する制度実施に向けた検討。</p>		
			進捗率等	<p>H27.9.1現在 0(%)</p> <p>H28.3.31現在 (表彰者数) 4者 100(%)</p>		
成果目標	3者表彰		事業結果	<p>■静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 静岡県知事表彰の産業開発振興功労、また静岡市功労者表彰の産業功労において中小製造事業に携わる方の表彰を実施。 (推薦者数) ・県知事表彰 1者 ・市功労者表彰 3者</p> <p>■中小製造事業者の技術表彰制度の平成28年度予算化 本市には、優れた生産技術を有する中小製造事業者が数多くあることから、こうした事業者を称え、表彰する制度について、平成28年度の予算化を行った。</p>		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	事業評価		事業結果		
	大施策			事業結果		
	中施策		事業結果			
産業振興プラン位置付け	基本方向	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■中小製造事業者技術表彰制度の検討 事業内容等について詳細を検討し、平成28年度の実施に向けた検討を行う。</p>		
	基本方針			事業結果		
	基本施策			事業結果		
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

重 点 項 目 ⑤	ものづくり 基本計画	重点項目		平成27年度			
	事業名	⑤産業振興プラットフォームの考え方に基づく中小製造事業者支援		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>第2次静岡市産業振興プランには、中小製造事業者を多角的に支援する考え方として、産業振興プラットフォームが示されています。今後は、このような考え方をもとに、中小製造事業者の抱える課題等への対応を図る支援を推し進めていきます。</p>		取組状況	H27.9.1 現在	<p>■企業情報の収集 プラットフォームによる支援を実施するため、企業相談・企業訪問等を通じた企業情報の収集（シーズの発掘）の実施。</p>	
		補足事項			進捗率等	H27.9.1 現在	(%)
						H28.3.31 現在	(プロジェクト支援数) 10件
	成果目標	プロジェクト支援数 3件/年					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針	商工・物流		事業結果	<p>■支援の実施 市産学交流センター、大学、商工会議所等の産業支援機関のうち複数が関わった支援は10社となっている。</p>	
		大施策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
		中施策	戦略産業の育成・集約を推進				
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	戦略産業振興プラットフォーム		事業 評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■企業情報の共有化、支援対象事業を見極める力の向上 企業相談・企業訪問等による企業情報の収集について、商工部内での情報を共有するまでに至っていないことから、情報共有を進めるとともに、それら情報の中から、新商品開発や事業化の見込みのある事業について見極める仕組みについて検討していく。</p>		
	基本方針	戦略産業振興プラットフォームによる支援					
	基本施策						
担当課等	<p>経済局商工部 産業政策課 新産業係 産業振興課 工業振興係</p>		その他 (特記事項)				

重 点 項 目 ⑥	ものづくり 基本計画	重点項目		平成27年度			
	事業名	⑥国や県等の補助制度の情報提供と活用モデルの提案		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>中小製造事業者が事業の展開を図る上で、補助制度の活用は有効な手段の一つであります。そうした中小製造事業者の取組を支援するため、国や県等の補助制度に関する情報の提供をはじめ、実際に活用した事業者をモデルケースとして取りまとめ、円滑な利活用が図れるような提案を行っていきます。</p>		取組状況	H27.9.1 現在	<p>■国や県等の補助制度に関する情報の収集 国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を実施することとした。</p>	
					進捗率等	H27.9.1 現在	(%)
						H28.3.31 現在	(%)
	成果目標	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供		事業評価	事業結果	<p>■国や県等の補助制度に関する情報収集の実施 国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を行った。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				事業評価	<p>■情報提供方法の検討及び提供の実施 情報収集後の中小製造事業者への効果的な情報提供方法及び収集情報をどのような形で取りまとめ、提供することがより分かりやすいか等の観点の検討がなされていないため、収集情報の提供に向け、検討・改善に取り組んでいく。</p>
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等</p>	<p>■情報提供方法の検討及び提供の実施 情報収集後の中小製造事業者への効果的な情報提供方法及び収集情報をどのような形で取りまとめ、提供することがより分かりやすいか等の観点の検討がなされていないため、収集情報の提供に向け、検討・改善に取り組んでいく。</p>			
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)				

ものづくり基本計画		重点項目		平成27年度	
事業名	⑦展示販売会等の開催による販路拡大に向けた支援	予算額	—		千円
		決算見込額	—		千円
事業概要	中小製造事業者の販路拡大については、展示場面積で全国10位の規模を有する公益財団法人静岡産業振興協会のツインメッセ静岡を会場として、展示販売会や商談会等の開催を進めています。	取組状況	H27.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■中部横断自動車道開通に伴う山梨県内企業との交流促進事業 静岡に販路拡大を目指す企業・団体に向け、(公財)静岡産業振興協会による「ツインメッセ静岡及び市内観光施設の見学会」を開催(主催:(公財)静岡産業振興協会) ・平成28年3月開催予定 ■利用促進策及びPR等の検討実施 (公財)静岡観光コンベンション協会と連携し、催事の誘致活動や利用者の満足度向上を図る新たなサービス等について検討実施 	
		進捗率等	H27.9.1 現在		0 (%)
	補足事項		H28.3.31 現在	展示会等の誘致件数 1件	100 (%)
成果目標	展示会等の誘致件数 1件/年			<ul style="list-style-type: none"> ■中部横断自動車道開通に伴う山梨県内企業との交流促進事業の実施 静岡に販路拡大を目指す企業・団体に向け、(公財)静岡産業振興協会による「ツインメッセ静岡及び市内観光施設の見学会」を開催(主催:(公財)静岡産業振興協会) ・開催日:平成28年3月16日 ・参加企業数及び人数:12社、14人 ■利用促進策及びPR等の検討実施 (公財)静岡観光コンベンション協会と連携し、催事の誘致活動や利用者の満足度向上を図る新たなサービス等について打ち合わせを行った。 ■展示会等の誘致件数 1件 	
⑦ 総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援			
産業振興プラン位置付け	基本方向			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■次年度以降も継続して山梨県内企業との交流促進を図る。 ■現在実施している誘致活動に加えて今後は、市内中小製造事業所の振興に繋がるような効果的な展示会や商談会等に目を向け、ターゲットを絞った誘致活動を検討していく。 ■また、これらの事業・活動において、市と(公財)静岡産業振興協会の連携を深めていく。 ■展示会等の開催については、誘致による開催だけでなく、主催事業としての開催も含め、検討していく。
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)		

重点項目	ものづくり基本計画	重点項目	平成27年度				
	事業名	⑧ものづくり関連の民間活動団体への支援	予算額	0千円			
			決算見込額	0千円			
	事業概要	<p>地域で活躍するものづくり関連団体としては、大手製造企業出身のエンジニアを中心に組織とする日立清水理科クラブやNPO法人マンパワーカフェが挙げられます。</p> <p>日立清水理科クラブでは、子ども達への理科教育をはじめ、ものづくりの醍醐味などを併せて提供しています。</p> <p>また、NPO法人マンパワーカフェについては、中小製造事業者が抱える課題への的確なアドバイスをしています。</p> <p>こうした地域社会に大きな貢献を果たしている公益性の高い団体に対しては、広報等を通じて団体活動を幅広く周知するなど、積極的な側面支援を展開していきます。</p>	取組状況	H27.9.1 現在	<p>■会報の配架</p> <p>日立清水理科クラブが毎月発行する会報を産業振興課カウンターに配架し、活動の周知を実施。</p>		
				進捗率等	H27.9.1 現在	(%)	
					H28.3.31 現在	(%)	
	成果目標	広報等による支援の実施	事業評価	事業結果	<p>■会報の配架</p> <p>日立清水理科クラブが毎月発行する会報を産業振興課カウンターに配架し、活動の周知を実施した。</p> <p>■活動の実施協力</p> <p>日立清水理科クラブが企画していた「静岡市長杯水 Rocket 大会」について、その実現に向けた各種調整を実施した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価	事業結果	<p>■活動の実施協力</p> <p>日立清水理科クラブが企画していた「静岡市長杯水 Rocket 大会」について、その実現に向けた各種調整を実施した。</p>
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向	事業評価	事業結果	<p>■具体的な側面支援の実施</p> <p>平成28年11月19日に「静岡市長杯水 Rocket 大会」をIAIスタジアムにて開催することとなった。</p> <p>次年度以降も、このような具体的な側面支援を展開していきたい。</p>			
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)					